図研アルファテック 製品 2020 新製品/新機能/改善機能





バージョン 2020

製品名			
キュービクルプラン (CP3D)	製品機能		
	3Dで銅帯や太線の配策設計ができるオプション製品		
	製品説明		
	ACAD-DENKIで作成した回路図からのFromTo情報と、3D盤図オプション等で作成した3Dの部品配置モデルを使用し、 銅帯や太線の引き回しを作図し、各種製造のための情報を作成するACAD-DENKIオプション製品です。		

新機能・改善機能一覧

2020 新機能と改善機能

	コマンド、機能	項目説明		
システム	対応OS/ベースCAD	ベースCADにAutoCAD2020が追加されました。		
メディア	インストーラの統合	図研アルファテック製品のメディアを統合しました。		
	ライセンスファイルメディア廃止	パッケージに同梱していたメディアでの提供から、ご登録代表担当者様へのメール 配信となりました。		
ACAD-DENKI 渡り線処理機能(NEW) 渡り線処理・呼合処理を一覧ダー 渡り線呼合一覧表示・編集 きるよう機能を追加・拡張しました		渡り線処理・呼合処理を一覧ダイアログ内表示から、一括で、確認・編集することがで きるよう機能を追加・拡張しました。		
		渡り線の呼び合い情報を一覧表示し、呼び合いを1:Nのグループにまとめたり、呼び合 い先を変更できるようになりました。 配線端に渡り線シンボルを自動配置、また、一括削除できるようになりました。		
	線番入カページ/シート付加機能	自動線番入力以外の線番入力コマンドにもページ/シート付加機能が実装されました。		
	非表示属性値を確認・クリアする コマンド(NEW)	非表示の属性の値をテキストとして表示して確認するコマンド、また、不要な属性値を クリアするコマンドが提供されました。		
	シンボル入力(パレット)	シンボル名やプロパティで目的のシンボルを検索できるようになりました。		
	WIM DB	インストールオプションになりました。プログラムと機能の「変更」で確認可能です。		
3D盤図	表示コントロール(NEW)	操作で邪魔になる図形を容易に非表示指定できるようになりました。		
	相対座標(<mark>NEW</mark>)	操作対象面に簡単にUCS指定、また、LookFromビューとの合致もサポートしました。		
	補助線	UCS指定した面に補助線を作図できるようになりました。		
	部品配置	各部品配置コマンド実行時、あらかじめ面定義しておかなくても都度、ソリッド面を指定 して部品配置できるようになりました。		
ハード回路シミュ レーター	シミュレーション情報チェック	ショート箇所や回り込み回路をチェックする機能が追加されました。		
ケーブルFromToリ ンク	設定	電線サイズ指定方法等を改良しました。		

対応OS / ベースCAD

■対応OS

Windows 7 (SP1) 32/64bit

Windows 8.1 32/64bit

Windows 10 32/64bit

■対応ベースCAD

BricsCAD V18~V19

※BricsCAD V17以前のバージョンには対応しておりません。

AutoCAD 2018~2020

※AutoCAD2017以前のバージョンに対応しておりません。 ※AutoCAD2019以降はWindows10 32bitには対応しておりません。

4

メディア

■インストールメディア

インストールメディアを統合しました。

メディア種類:クライアントインストーラ、サーバー製品用インストーラ

インストール製品の判断をライセンスファイルから行えるようにしました。

■図研アルファテック製品のライセンスファイル

提供方法の変更

提供方法:メール配信

旧出荷方法:パッケージにライセンスメディアを同梱

ライセンスファイルは、ご登録代表担当者様へのメール配信

パッケージ(製品インストールメディア、ドキュメント)は、従来通り配送となります。

新製品 / キュービクルプラン

銅帯や太線の配策設計を3Dで行うオプション 製品です。

	配線	バプ	2		
1	銅帯	-			
2	銅帯	-		ルート作図 ロ ロ 🔀	
3	銅帯	-			
4	太線	-			
5	太線	-		2 別市 J2 川市 J2 「 J2 「 M1 J2 「 J2 「 M1 M1 J2 」 「 M1 M1 J2 」 「 M1 M1 M1 J2 」 「 M1 M1 M1 J2 」 「 M1	
6	太線	-		4 △線 <u>×</u> R4 M1 DU1 4 F <u>×</u> 5 太線 <u>×</u> S4 M1 DU1 5 F <u>×</u>	
7	銅帯	-		6 広線 <u>✓ T4 M1 DU1 6 F </u> ✓ 7 銅帯 ✓ S1 M1 LBS(89R) 4 F ✓ M1	
8	銅帯	-	_	8 銅帯 <u> </u>	
9	銅帯	-	_	銅帯 <u>▼</u> R2 M1 CTI-1 K F <u>▼</u> M1 銅帯 ▼ T2 M1 CTI-2 K F ▼ M1	
10	銅帯	-			
11	銅帯	-		(作図(D) 通過点指示(P) 通過点剤原案(E) 行削除(R) ↑ ↓ まとめ 整列 誤配策剤原案	
10	鉑世	_		パラメータ変更 回線サイズ 以下を非表示 更新 移動 閉じる(X)	
	マン	ドを!	宔	2行すると「ルート作図」が表示!	
		. <u>.</u> .	\sim		
	ルー	ト作目	义	」」で確認しつつ、通過点の指示/削	
	· ۰. ۰	$= \cdot$			
同	た、/ /	フン		つの変史 寺の編耒、作凶かり能!	

渡り線呼合一覧表示・編集(NEW)

既存の渡り線処理の大部分を新コマンド「渡り線呼合一覧表示・編集」のダイアログから実行できる。

有効な活用方法

渡り線シンボルを一括配置、または削除を行いたい。From1:1とFromPを入れ替えたい! ⇒本コマンドを実施!一覧からの編集、呼び合い実行!



渡り線呼合一覧表示・編集(NEW)

ダイアログボタン説明	渡り線シンボル自動配置(I) グループ化(G) 呼合実行(R)	ズーム(Z) ロック削除(B)
	渡り線シンボル削除(D) グループ削除(B) 更新(U) 四	呼合符号を編集(E) FROM1:N切り替え(S)

[渡り線シンボル自動配置]対象図面内の配線の右(下)端にはFrom1:1シンボル、左(上)端にはToシンボルを配置する。

[渡り線シンボル削除] 対象図面内の渡り線シンボルを削除する。

[グループ化]ダイアログ内のFromとToの指定した行をグループ化する。

グループ化されたFromとToのセットはダイアログの「呼合実行」で優先処理される。ロック状態に反したグループ化は不可。

[グループ解除] ダイアログ内の指定行のグループ化を解除する。

[呼合実行]ダイアログ内の指定行について、渡り線呼合処理を実行する。

[更新] プロジェクト内の最新の図面状態をダイアログ情報に反映する。

[ズーム]カーソル行の対象図面・オブジェクトをCAD画面でズームする。

[呼合符号を編集]指定行の呼合符号を入力・編集する。

[ロック解除]「渡り線個別呼合指定」でロック化された(ダイアログ内でカギマークが付いている)行の対応シンボルの属性ロックを

クリアし、行のカギマークを消去する。

[From1:N切替] From1:1シンボルとFrom1:Nシンボルの切替。

指定行がFrom1:1シンボルであれば、From1:Nシンボルへ切替(Vice Versa)。指定行がToシンボルであればスキップ。

渡り線呼合一覧表示・編集(渡り線シンボル自動配置)

配線端に渡り線シンボルを自動配置できるようになりました。

有効な活用方法

「汎用CADで絵的な回路図が沢山あるが、すぐに配線のつながりを処理したい!」 ⇒本コマンドを実施!対象線の端点に渡り線シンボル(From/To)を自動配置!



渡り線呼合一覧表示・編集(シンボル削除)

有効な活用方法

「流用図面で渡り線シンボルの削除し忘れを防ぎたい!」「図面の修正で渡り線を繋げ直すのが面倒!」 ⇒本コマンドを実施!線番を残し渡り線シンボルだけを削除。図面修正後に渡り線シンボル自動配置!

・ 渡り線シンボル削除



線番順入力/線番順入力(一括)

自動線番入力以外の線番入力コマンドにもページ/シート付加機能が実装されました。

2019	2020	ページ/シートの付加
課番順入力 × 線番設定 種別 標準線番1 前固定部 開始番号 後固定部 前固定部 開始番号 後固定部 01 検索 書式 10進数[1,2,3,.] カウントアップ幅: ①10道数 1 ご 選択進数 1 ・ 選択進数 1 ・ 選択進数 1 ・ 認知線用(い) SENBAN 横配線用(い) SENBAN 一 イャンセル	 える 線番設定 種別 種別 菅道定部 前固定部 開始番号 後固定部 45 45 後索 書式 10道数[1,2,3,.] かウントアップ幅: ④10進数 ①道数[1,2,3,.] かウントアップ幅: ④10進数 ①選択道数 1 ⑦ 課択道数 1 ⑦ 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 御子(1) 『 御子(1) 『 御子(1) 『 『 『	なし べージ シート 区切り文字 - ページ/シートの付加 ページ ● 接頭 ● 接頭 ○ 接尾 区切り文字 -

バスライン線番入力

ページ/シート付加機能が実装されました。

2019	2020	ページ/シートの付加
バスライン線番入力	・ パスライン線番入力 × 線番設定 ・ ・ 種別 ・ ・ 前固定部 開始番号 後因定部 ・ 1 検索 ・ ・ 書式 10i進数[0,1,2,.] ・ ・ ガウンドアップ幅: ● 10i進数 ・ ご提択道数 1 ・ パワウンドル・ ● 10i進数 ・	なし べージ シート 区切り文字 - ○ 接頭 ○ 接尾 区切り文字 -

非表示属性コントロール(NEW)

属性値確認/属性の値をテキスト表示します。

有効な活用方法

部品の情報を知りたいが、個別の部品を選ぶ、表示を変更するのは面倒! ⇒本コマンドを実施!シンボル内の値をWARNING画層にマルチテキストで作図!

属性変更(H) → 非表示属性コントロール(O) → # 属性抽出・反映(B) ▲ 文字入力(S)	▲ 属性確認 - □ × 作図設定 文字高さ(H) 認 参照 縦横比(W) 0.8 参照	<i>} ∦</i> ₩ ;
▲ 処理対象図面を指示 カレント図面 OK キャンセル 2 14 DRV 01 TRV COL) RY 7 AC100-240V H3CR-A (OL) RY 2 (OL) RY (OL) RY 3 AC100/110V MY2	●作図する(1) ●赤で作図(2) ●作図しな(\3) 対象属性 対象属性 対象、個性 対象、目 第4点 一日 一日 <t< td=""><td>DEVICE= DTYPE=MY2 NAME=TRV NAME1=RY SPEC=AC100/110V TYPE=MY2 100/110V 2 キストで作成 確認! た? ・スト更新!</td></t<>	DEVICE= DTYPE=MY2 NAME=TRV NAME1=RY SPEC=AC100/110V TYPE=MY2 100/110V 2 キストで作成 確認! た? ・スト更新!

非表示属性コントロール(NEW)

属性値クリア/シンボルの属性と「属性値確認」で作成したテキストの値をクリアします。

有効な活用方法

部品のプロパティ情報をクリアしたいが、個別に修正するのは面倒!

⇒本コマンドを実施!部品情報と「属性値確認」で作成したテキスト情報を一括でクリア!



シンボル入力(パレット)-検索

検索ボックスからシンボル名やプロパティで目的のシンボルを検索ができます。



WIM

インストールオプションになりました。Windowsのプログラムと機能の「変更」で確認可能。

名前 ■ Alfatech ACAD-DENKI 2019 (x64)	発行元 Alfatech Inc.	インストールされた更新プログラムを 表示 Windows の機能の有効化または	プログラムをアンインストールするには、一覧からプロ	グラムを選択して [アンインストール]、[変更]、または
劇 ACAD-DENKI (x64) カスタム セットアップ	× • -	無効化	整理 ▼ アンインストール 変更 修復 名前 ^	発行元
Fのリストにあるアイコンをクリックして、機能のイン ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	ストール方法を変更してください。 機能の説明 ACAD-DENKIの機能 		 Alfatech ACAD-DENKI 2020 (x64) 	Zuken Alfatech Inc. ー □ × ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ンストール方法を変更してください。 機能の説明 いてい いてい
 (夏&E) (夏を) (※へ(N)> キャンセル ※本(N)> キャンセル 機能(の移行ツール WIM 			ンール この機能はハードドライブ上に 0KBを必要とします。 ・

3D盤図 表示コントロール(NEW)

操作で邪魔になる図形を容易に非表示指定できるようになりました。

有効な活用方法

3D作図編集を行いたいが、前面部品を個別に非表示にするのは手間! ⇒本コマンドを実施!選択パターンで表示をコントロール!選択パターンは図面に保持!



3D盤図 相対座標(NEW)

操作対称面に簡単にUCS指定、またLookFromビューとの合致もサポートしました。



基点指示

➤ UCSを定義する面を指定して変更します。
基点アイコン表示切替



▶ 基点アイコンの絶対座標位置での表示、UCS位置での表示を切り替えます。絶対座標へ戻す

▶ 変更したUCS基点を絶対座標(ワールド座標)に戻します。

LookFrom合致化

> 3Dモデルを回転させて LookFromビューとの合致



3D盤図 WIM部品配置

WIM部品配置コマンド実行時、あらかじめ面定義しておかなくても都度、ソリッド面を指定して部品配置できるようになりました。



3D盤図 補助線

UCS指定した面に補助線を作図できるようになりました。



ハード回路シミュレーター シミュレーション情報チェック

ショート箇所や回り込み回路をチェックする機能が追加されました。

